



発行 郵政産業労働者ユニオン岡山支部
 連絡先 岡山市北区中山下2-1-1
 岡山中央郵便局 5階
 郵送先 700-8799 私書箱222号

1年連続ベアゼロ、でも役員報酬は1・23倍！ 皆さん、もっと怒りましょう！

郵政ユニオン中央本部は3月23日、これ以上の進展に期待が持てないとの判断から、賃金交渉を打ち切りました。

会社側は「厳しい経営環境」との主張に固執し、コロナ禍でも必死で頑張ってきた社員に報いるつもりは無いようです。

そればかりか、本社執行役員の報酬は、2015年と比べると1・23倍になっているとの事。2015年は一人当たり1906万円だったのが、2019年には2953万円で実に1・54倍。その後は減ったものの2021年には2355万円で1・23倍との事です。

一般職の住居手当だけでなく、配偶者扶養手当や年末勤務手当も廃止し、更には夏季休暇も減らそうとしながらも、浮いた経費は自分たちに、と捉えられても仕方ないのではないのでしょうか？「厳しい経営環境」なら、まず自らの「身を削る」事から始めないといけないのではないのでしょうか？そういった施策だから「入ってもすぐ辞める」等、要員が定着しないのではないのでしょうか？すなわち、かんぽ生命問題からの信頼回復は程遠い、という事にも繋がっていくでしょう。。

そもそも、なぜ経営が厳しいのでしょうか？「郵便の減少で収入が減っているから」と回答するのでしょうか。しかし、かんぽ生命に始まる不祥事で信用を失ったのに、郵便送達日数の繰り下げ等でサービスを低下させるなど、郵便が更に減っていく施策を経営陣自ら行っているように思えるのは多くの方が思っているところです。

現場要員を減らし、管理者以上が恩賞を受けるような施策はもう止めましょうよ？

現場の皆さん、現場管理者含め、もう怒ってもいいんじゃないでしょうか？現場対管理者とか、組合が違うから、等は関係ありませんよ！そんな垣根は超えて、みんなで声を上げて怒るべきです！「現場の給料が上がらない、なら、経営陣も含め皆平等にすべきだ」と。

職場のあれこれ、記事募集中！ ご意見等下記メールアドレスへ

〔連絡先〕 Eメール : postunion_okayama@yahoo.co.jp

支部メールアドレス

